

事務事業名	社会教育事務事業			事業コード	10050105101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	村中 秀也		
事業対象	坂井市市民全体						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	社会教育法					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	生涯学習事業として小規模な事業や、生涯学習全体を補助的に支援する事業です。						
	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい知識と教養を身につける機会を広く市民に提供し生活の中により高い文化を創造することを目的として生涯学習講演会、成人大学講座、大学開放講座を開講する。 ・坂井市の生涯学習・スポーツの冊子を作成し、今後の生涯学習・スポーツ事業を展開する上での資料とする。 						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	坂井市教育振興基本計画の実現に向けて、進捗状況を常に確認していきます。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性を取りながら、坂井市教育振興基本計画の実現に努めていきます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	510 千円	510 千円	千円	千円				
		委託費	486 千円	千円	千円	千円				
		需用費	31 千円	30 千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	265 千円	148 千円	千円	千円				
		事業費合計	1,292 千円	688 千円	千円	千円				
	人件費	正職員	0.63 人	4,479 千円	0.04 人	284 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.33 人	677 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.96 人	5,156 千円	0.04 人	284 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	6,448 千円	972 千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
地方債		千円	千円	千円	千円					
その他		千円	千円	千円	千円					
一般財源		6,448 千円	972 千円	千円	千円					
財源合計	6,448 千円	972 千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	受講生のニーズに沿った成人大学として継続していく。生涯学習・スポーツ事業のまとめとして冊子の充実をはかります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	成人大学は運営委員長の意見を尊重しながら運営していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	受講料による運営のため、身近な講師が主体となる。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	現在の事業規模を維持していきます。			
すぐにできる改善提案	坂井市教育振興基本計画の実現に向けて進捗状況を確認していきます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性を取りながら、坂井市教育振興基本計画の実現に努めます。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	生涯学習・スポーツ報告書作成	回	1	1	1	1
		達成率	100	100	100	
		回				
		達成率				
		回				
		達成率				
		回				
		達成率				
		回				
		達成率				
		回				
		達成率				

事務事業名	社会教育団体補助事業			事業コード	10050105106
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	宇野 正昭
事業対象	坂井市PTA連合会、(社)ガールスカウト日本連盟福井県第17・20団、日本ボーイスカウト福井連盟坂井第5・6団、坂井市女性の会、三国海洋少年団、坂井市かるた協会				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	補助金事業（団体）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	社会教育団体の活動・運営を支援するとともに、組織の育成を行い、社会教育の推進を図っています。				
	社会教育団体に対し補助金を交付し、活動の支援・指導・育成を行います。				
事業の目的・事業の概要等	○補助及び交付金 2,306千円 ・PTA連合会事業補助金 250千円 ・ガールスカウト育成団体運営補助金 140千円 ・ボーイスカウト育成団体運営補助金 140千円 ・三国海洋少年団育成団体運営補助金 30千円 ・女性の会運営補助金 1,396千円 ・かるた協会事業補助金 350千円 ※決算見込額を記載しています。				

すぐにできる改善提案	補助金の見直しについては、すでに終了しており、年次的に進めていきたいと考えます。また坂井市教育振興基本計画の実現に向けて、進捗状況を常に確認していきます。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	補助金交付手続において、活動実態の聞き取りや、交付額の調整などを適正に行っています。補助金交付要綱の期限が切れる団体について、団体ヒアリング等を行いながら、見直し手続きを進めました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性を取りながら、坂井市教育振興基本計画の実現に努めます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	各団体との対話を重ね、中長期的な活動成果達成に向けた地道な取り組み（聞き取り、財政支援、改善提案など）を進めています。		

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,306 千円	2,669 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	2,306 千円	2,669 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.59 人	4,194 千円	0.21 人	1,493 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.59 人	4,194 千円	0.21 人	1,493 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	6,500 千円	4,162 千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円				
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円				
地方債		千円	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		6,500 千円	4,162 千円	千円	千円	千円				
財源合計	6,500 千円	4,162 千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	補助が必要と認める社会教育団体の活動であり、継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	運営が適正と判断される社会教育団体に補助していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	補助対象事業のみの助成とします。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	事業の変動がないことから現状を維持していきます。			
すぐにできる改善提案	坂井市教育振興基本計画の実現に向けて進捗状況を確認していきます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性を取りながら、坂井市教育振興基本計画の実現に努めます。			
目標年度 平成29 年度				

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
成果 事業費補助率 ※実績報告書受領後に算出	%	目標値	33.3	達成率 33.3	達成率 33.3	達成率 33.3	
		実績値		73.5	220.72	41.9	125.83
活動 1人当たり自己負担金	円	目標値	10,000	達成率 10,000	達成率 10,000	達成率 10,000	
		実績値		11,111	111.11	7242	72.42
		目標値		達成率	達成率	達成率	
		実績値					
		目標値		達成率	達成率	達成率	
		実績値					
		目標値		達成率	達成率	達成率	
		実績値					

事務事業名	市民運動推進事業			事業コード	10050115101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	齋藤 利香		
事業対象	坂井市民運動推進協議会会員・坂井市民運動に賛同する一般市民						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。						
	市民運動の優良実践者を表彰するとともに、子どもから大人まで気軽に取り組める花壇作りを推進し、花壇コンクールを行う。						
事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費（市民運動・花壇コンクール表彰記念品代） 80千円 ○需用費（花壇用種子代、会議膳） 181千円 ○役務費（郵便料、筆耕料） 8千円 ○負担金 317千円 ・あすの福井県を創る協会負担金 195千円 						

すぐにできる改善提案	地域において進める事業については、地域に移管できるようにしていきたいと考えています。また、坂井市教育振興基本計画に基づき、着実に実行していきます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性、教育基本計画の実現に努めます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況			

【事業の概要】

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	187 千円	179 千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	2 千円	14 千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	275 千円	406 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	464 千円	599 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.17 人	1,209 千円	0.80 人	5,687 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.25 人	513 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.42 人	1,722 千円	0.80 人	5,687 千円	人	千円	人	千円
総事業費			2,186 千円		6,286 千円		千円		千円	
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
		その他	145 千円	145 千円	千円	千円				
	一般財源	2,041 千円	6,141 千円	千円	千円					
財源合計		2,186 千円		6,286 千円		千円		千円		

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	ふるさとづくり大会参加者数	人	目標値	300	達成率	300	達成率	300	達成率	300	達成率
			実績値	185	61.67	230	76.67	116	38.67	582	
活動	市民運動被表彰者数	人	目標値	15	達成率	15	達成率	15	達成率	15	達成率
			実績値	11	73.33	11	73.33	12	80	16	
活動	花壇コンクール参加団体数	団体	目標値	65	達成率	65	達成率	65	達成率	65	達成率
			実績値	48	73.85	55	84.62	53	81.54	68	
活動	花の種配布地区団体数	団体	目標値	180	達成率	170	達成率	200	達成率	200	達成率
			実績値	102	56.67	128	75.29	133	66.5	170	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

【所屬長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	坂井市民憲章を広く市民に知らしめるため、さらに推進していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	坂井市民憲章を広く市民に知らしめるため、さらに推進していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	現在の事業を推進します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	現在の事業を推進します。			
すぐにできる改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき実行していきます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性を取り、坂井市教育振興基本計画の実現に向け取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				

事務事業名	公民館維持管理事業			事業コード	10050200101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	村中 秀也
事業対象	地域及び一般市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	社会教育法			
根拠例規	有	坂井市公民館条例			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	地域住民に最も身近な学習の場であり、地域住民の交流の場である公民館施設の適正な維持管理と運営の充実を図る。				
	全館に関わる報酬や賃金のほか、統一的去る委託業務や修繕は本庁において実施し、各館ではその他の維持管理を行う。				
事業の目的・事業の概要等	◆本庁事業費 ○報酬等 47,330千円（公民館長報酬、手当、共済費） ○賃金 101,546千円（臨時職員賃金） ○需用費 22,797千円 ○役務費 3,327千円 ○委託料託料 1,427千円 ○使用料及び賃借料 8,368千円 ○工事請負費 6,499千円 ○備品購入費 2,878千円（施設用備品購入費） ○負担金 702千円				
	◆各公民館事業費 市内26（本館23、分館3）公民館維持管理費 ○需用費、委託料他 74,075千円				

すぐにできる改善提案	坂井市公共施設マネジメント白書、坂井市教育振興基本計画の実現に向け、適正に推進します。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	安全性を優先して順次取り組んでいる。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性をとりながら、教育振興基本計画の実現に努めます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	H26年度に耐震診断を行い、H27年度に改修計画を、H28年度以降から順次改修する計画である。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	41,400	千円	41,400	千円	千円	千円	千円	
		委託費	32,899	千円	32,206	千円	千円	千円	千円	
		需用費	62,014	千円	44,900	千円	千円	千円	千円	
		役務費	5,143	千円	5,426	千円	千円	千円	千円	
		その他	20,308	千円	10,878	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	161,764	千円	134,810	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	1.27	人	9,028	千円	1.33	人	9,455	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	0.00	人	千円	千円	千円
		人件費合計	1.27	人	9,028	千円	1.33	人	9,455	千円
		総事業費	170,792	千円	144,265	千円	千円	千円	千円	
		事業費	特定財源	国県支出金	216	千円	216	千円	千円	千円
使用料・手数料			9,686	千円	9,125	千円	千円	千円		
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円					
地方債	千円		千円	千円	千円					
その他	1,900		千円	2,040	千円	千円	千円			
一般財源	158,990		千円	132,884	千円	千円	千円			
財源合計	170,792	千円	144,265	千円	千円	千円				

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	公民館からコミュニティセンターへの移行に向け検討していきます。			
実施主体の方向性	市の関与を拡大します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	公民館からコミュニティセンターへの移行に向け検討していきます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	施設の耐震診断を行い、その結果に基づき施設の整備計画を立てます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	現在の事業を推進していきます。			
すぐにできる改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき、推進します。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画と坂井市教育振興計画との整合性を取りながら推進します。			
目標年度 平成27 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
	公民館年間利用者数	件		410000	101.54	400000	100.04	394000	---	367000	102.28
				実績値		実績値		実績値		実績値	
				目標値		目標値		目標値		目標値	
				実績値		実績値		実績値		実績値	
				目標値		目標値		目標値		目標値	
				実績値		実績値		実績値		実績値	
				目標値		目標値		目標値		目標値	
				実績値		実績値		実績値		実績値	
				目標値		目標値		目標値		目標値	
				実績値		実績値		実績値		実績値	

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	公民館運営事業			事業コード	10050205101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	村中 秀也		
事業対象	地域住民						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）		
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	社会教育法					
根拠例規	無	坂井市公民館条例					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	地域の特色や素材を生かした学びの中から、交流や情報交換できる生涯学習の場を作り、地域の活性化を図る。						
	公民館講座の開設や公民館まつりの開催を行う。						
事業の目的・事業の概要等	<p>◆本庁事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費（公民館職員研修講師謝礼） <p>◆各公民館事業費</p> <p>市内26（本館23、分館3）公民館運営費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 3,140千円 ○需要費 2,457千円 ○役務費 249千円 ○委託料 220千円 ○使用料及び賃借料 244千円 						

すぐに行ける改善提案	坂井市教育振興基本計画の実現に向け、進捗状況を確認していきます。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性を図りながら坂井市教育振興基本計画の実現に努めます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況			

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
妥当性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	220千円	220千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	2,456千円	2,311千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	259千円	257千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	3,375千円	3,592千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	6,310千円	6,380千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.93人	6,611千円	1.00人	7,109千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.93人	6,611千円	1.00人	7,109千円	人	千円	人	千円
総事業費		12,921千円	13,489千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円				
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
	その他	2,016千円	2,233千円	千円	千円	千円				
	一般財源	10,905千円	11,256千円	千円	千円	千円				
財源合計	12,921千円	13,489千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	社会教育の学習、発表の場として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	坂井市教育振興基本計画に基づき実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	現在の事業を継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	現在の職員体制で維持していきます。			
すぐに行ける改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき、実施していきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画と坂井市教育振興基本計画の整合性を図り、取り組んでいきます。			
目標年度 平成27 年度				

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
成果	公民館講座（定期講座・短期）開催件数	件	目標値	150	達成率 150	達成率 150	達成率 150	
			実績値	125	83.33	141	94	158
活動	公民館利用団体登録者数	件	目標値	550	達成率 550	達成率 550	達成率 550	
			実績値	544	98.91	510	92.73	494
活動	定期講座・短期講座受講者数	件	目標値	10000	達成率 10000	達成率 10000	達成率 10000	
			実績値	7284	72.84	8204	82.04	9196
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	公民館施設整備事業			事業コード	10050215101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	宇野 正昭
事業対象	一般市民及び利用者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	社会教育法			
根拠例規	有	坂井市公民館条例			
関連計画・マニュアル	有	市総合振興計画、教育振興基本計画、JR春江駅周辺整備基本計画など			
事業の目的・事業の概要等	地域住民に最も身近な学習の場であり、地域住民の交流の場である公民館施設の整備を図る。				
	老朽化が進み、耐震基準を満たしていない春江中公民館の建替えをおこない、地域住民に利用しやすい、社会教育や生涯学習の拠点づくりを行う事業 ※H25春江中公民館建替基本計画策定業務委託料1,785,000円				

【事業の概要】

すぐに行える改善提案	JR春江駅周辺整備基本計画に基づいた事業進行を行うこと。利用者や地元団体からワークショップを通じて要望を聞き取り、所管課や関係団体と連携をとりながら事業を進めること。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	JR春江駅周辺整備基本計画に基づきつつ、利便性の高い公民館を建設するために、同計画の枠にとどまらない活動が求められた。各部署と連携を取りつつ、ワークショップを開催し、基本計画の作成にあたった。
中長期的に取り組むべき改善提案	地元要望を取りまとめつつ、限られた財源の中で、利便性の高い公民館となるように工夫を凝らすこと。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	各部署と連携を取りつつ、基本計画の策定に取り組んだ。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費					
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		委託費	1,785	千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	千円	37,265	千円	千円	千円	千円			
		事業費合計	1,785	千円	37,265	千円	千円	千円			
		人件費	正職員	1.15 人	8,175 千円	1.02 人	7,251 千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.15 人	8,175 千円	1.02 人	7,251 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	9,960	千円	44,516	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	14,718	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円					
一般財源		9,960	千円	29,798	千円	千円	千円				
財源合計	9,960	千円	44,516	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	立替基本計画に基づき、基本設計・実施設計を行います。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	立替基本計画に基づき、基本設計・実施設計を行います。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	立替基本設計に基づき、基本設計・実施設計を行います。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	現在の人員により実施していきます。			
すぐに行える改善提案	立替基本計画に基づき、基本設計・実施設計を行います。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	立替基本計画に基づき、実施設計を行います。			
目標年度 平成26 年度				

【所属長評価】

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	工事進捗率	%	目標値	0	50	50	0
			実績値	0	50	100	0
成果	基本計画の策定数	計画	目標値	1	達成率	達成率	達成率
			実績値	1	100		
活動	工事請負額	千円	目標値	0	達成率	41000	60000
			実績値	0	37000	90.24	60000
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				

【事業の成果】

事務事業名	国際交流派遣事業			事業コード	10050400106
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	門馬 聡子
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	国際交流・地域交流の推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	渡航業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	国際理解教育の一環として、市内中学校の生徒を英国に派遣し、ホームステイや授業参加を通して外国の生活を体験することにより、国際化時代に対応できる人材を育成する。				
	【交流先】	英国 ウェールズ カーディフ市 プラスマウルコンプリヘンシブスクール他1校			
事業の目的・事業の概要等	【参加者】	坂井市内の中学2年生を対象に参加者を募集し、選考により25人の団員を決定する。 (一次選考 作文、二次選考 面接)			
	【引率者】	5人(団長、引率教諭2人、事務局2人)			
	【派遣期間】	3月中の11日間			
	【事前研修】	10回程度(語学研修、全体研修)			
	【参加者負担】	210,000円×25人			
	○報償費(選考委員・研修指導者謝礼他)	145千円			
	○旅費(引率者日当)	189千円			
	○需用費(研修時の消耗品費、食糧費他)	192千円			
	○委託料(渡航業務委託料)	8,082千円			
	○使用料及び賃借料(携帯電話使用料、研修施設使用料)	24千円			

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	受益者負担金を「補助金見直し」同様に、総事業費の2分の1にする方向で検討の余地があります。
目標年度 平成26年度	
取組状況	現在の受益者負担金は現在は2分の1よりも若干多いのですが、実際の渡航費用として必要な部分が多く、今後さらに負担率について検討していきます。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に従い事業を実施していきます。
目標年度 平成29年度	
取組状況	坂井市教育振興基本計画に従い、事業を実施しています。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？(国、県、民間の活動と重複していませんか？)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？(事業の成果が十分に上がっていますか？)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	国際交流推進費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	8,093千円	8,281千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	186千円	192千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	317千円	358千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	8,596千円	8,831千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.55人	3,910千円	0.55人	3,910千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.55人	3,910千円	0.55人	3,910千円	人	千円	人	千円
総事業費	12,506千円	12,741千円	千円	千円	千円	千円				
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円				
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
	その他	千円	4,850千円	千円	千円	千円				
	一般財源	12,506千円	7,891千円	千円	千円	千円				
財源合計	12,506千円	12,741千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	国際化の時代、中学生の英語力向上に向け継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	中学生が対象となるため、市が主催して実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	受益者負担の観点から妥当と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐにできる改善提案	受益者負担の原則により、参加者負担金の見直しも視野に入れながら決定していきます。			
目標年度 平成26年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組んでいきます。			
目標年度 平成29年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度		
成果	参加者の成長度	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	100	100	100	100	100	100
成果	参加者の満足度	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	100	100	100	100	100	100
活動	参加者数	人	目標値	25	達成率	25	達成率	25	達成率
			実績値	25	100	25	100	25	100
活動	事前研修の実施回数	回	目標値	14	達成率	14	達成率	14	達成率
			実績値	14	100	14	100	14	100
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						

事務事業名	子ども会育成事業			事業コード	10050500101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	齋藤 利香		
事業対象	市民（坂井市内の子ども「3歳児から高校3年生」、子ども会育成者・指導者、ジュニアリーダー・シニアリーダー）						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱、坂井市子ども会育成連絡協議会会則					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	<p>幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成を図ることを目的としています。</p> <p>「坂井市子ども会育成連絡協議会」を事業主体として、「坂井地区子ども会育成連絡協議会」や「各支部子ども会・各ジュニアリーダーズクラブ」と連携・協力し、子ども会活動の支援や組織の育成を図ります。</p> <p>【坂井市子ども会育成連絡協議会の主な事業】 ・壁新聞コンクール ・ドッジボール大会 ・かるた大会 ・育成者研修会他</p> <p>【各支部子ども会・各ジュニアリーダーズクラブの主な事業】 ・ソフトボール大会 ・ジュニアリーダー研修会 ・各単位子ども会活動の支援他</p> <p>○負担金 153千円 ・坂井地区子ども会育成連絡協議負担金 90千円 ・県子連団体会費 63千円 ○補助金 1,984千円 ・坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金</p>						
	事業の目的・事業の概要等						

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐにできる改善提案	子ども会活動の指導者としてのジュニアリーダーの育成に赴きをおき、人員増に努める必要があると思われます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき事業を推進していきます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,138 千円	2,137 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,138 千円	2,137 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.00 人	千円	0.65 人	4,621 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.00 人	千円	0.65 人	4,621 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		2,138 千円	6,758 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		2,138 千円	6,758 千円	千円	千円					
財源合計		2,138 千円	6,758 千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	子供会活動を支援し、ふるさとを愛する心を育てるとともに、ジュニアリーダーを育てる事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状が妥当と考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状が妥当と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状が妥当と考えます。			
すぐにできる改善提案	子供の指導者であるジュニアリーダーの育成に努めます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度				
成果	%	目標値	62	達成率	62	達成率	62	達成率	62	達成率
		実績値	55.0	88.71	57.9	93.39	57.6	92.9	57.3	92.42
活動	回	目標値	4	達成率	4	達成率	4	達成率	4	達成率
		実績値	2	50	3	75	2	50	4	100
活動	人	目標値	280	達成率	280	達成率	280	達成率	280	達成率
		実績値	213	76.07	218	77.86	182	65	184	65.71
活動	点	目標値	160	達成率	160	達成率	160	達成率	160	達成率
		実績値	136	85	143	89.38	119	74.38	136	85
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

事務事業名	成人式事業			事業コード	10050500106		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	辻本 史貴		
事業対象	年度内に20歳を迎える、市民および以前市内に住んでいたことのある人で参加を希望する人						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	無		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】	新成人の門出を祝福するとともに、参加した新成人一人一人が成人したことを自覚し、これからの社会の中で自主的・協力的に行動するように促す。						
	広報紙・ホームページなどを通じて実行委員を募集し、新成人自らが実行委員となり式典やアトラクション、記念品などの企画・運営を行う。						
【事業の目的・事業の概要等】	○報償費（実行委員謝礼、記念品ほか） 806千円 ○需要費（式典消耗品、食糧費、印刷製本費） 140千円 ○役務費（郵便料、手話通訳派遣料ほか） 122千円 ○使用料及び賃借料（会場使用料） 129千円						

すぐに行ける改善提案	成人式当日の運営について、新成人の受付をスムーズに進めていきたいと考えています。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	成人式当日は新成人の受付を4町に分けて行っているが、丸岡町は対象者人数も多く、受付場所が混雑することが多いので、今後は受付がスムーズに進むように受付場所を増やす等の工夫をしていきます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき、事業を実施していきたいと考えています。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	成人を迎える方々の中から成人式実行委員を募集し、成人式の企画や運営に携わっていただいています。成人式実行委員会は、委員が自らそれぞれの意見を出し合い、自分たちの成人式を創り上げていきます。今後社会でリーダーとして活躍していくために必要とされる協調性や積極性、自主性を養う場にもなっています。今後も実行委員の自主性を大事に事業を進めていきます。		

【担当者評価】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【効率性】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円			
			委託費	千円	千円	千円	千円			
			需用費	140 千円	172 千円	千円	千円			
			役務費	124 千円	123 千円	千円	千円			
			その他	935 千円	819 千円	千円	千円			
	事業費合計	1,199 千円	1,114 千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.66 人	4,692 千円	0.61 人	4,336 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.01 人	21 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.67 人	4,713 千円	0.61 人	4,336 千円	人	千円	人	千円
総事業費	5,912 千円	5,450 千円	千円	千円						
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
		その他	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	5,912 千円	5,450 千円	千円	千円					
財源合計	5,912 千円	5,450 千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	成人となる自覚を促す式典として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で実施していきます。			
すぐに行ける改善提案	現状（実行委員会方式）が妥当と考えます。			
目標年度 ー 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づいて取り組んでいきます。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】	成果	式典参加率	単位	%	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
					目標値	85.0	達成率	85.0	達成率
活動	実行委員数	人	目標値	16	達成率	16	達成率	16	達成率
			実績値	16	100	16	100	14	87.5
活動	ホームページ・広報掲載回数	回	目標値	6	達成率	6	達成率	6	達成率
			実績値	6	100	6	100	5	83.33
活動	ボランティア参加者数	人	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率
			実績値	9	75	9	75	9	75
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						

事務事業名	わんぱく少年団事業			事業コード	10050500111
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	福澤 斗夢
事業対象	坂井市在住の小学5・6年生				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市青少年自然体験活動事業実施要項			
事業の概要	坂井市および県内の自然の中で様々な体験を行うことにより、自立の精神を育み、その上で仲間とコミュニケーションをとりながら協力する大切さを学ぶ。また、坂井市の豊かな自然に触れ合うことによって、ふるさとを大切に作る健やかな心身を育成する。				
	坂井市内の小学校5、6年生30人を対象に募集し、スノーケリングやキャンプ、クロスカントリースキー、トレッキング、ウォークラリー、ディスクゴルフ、木工体験等、自然を通じた活動を年間10回実施した。				
事業の目的・事業の概要等	○報償費（講師謝礼） 40千円 ○需用費（活動用消耗品費、食糧費） 210千円 ○役務費（傷害保険料） 24千円 ○使用料及び賃借料（施設使用料、機材借上料） 83千円				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐに行ける改善提案	事業内容により県内にある青少年の家を選択する中で、交通手段・運行距離により受益者負担金を見直す余地はあると考えられます。
目標年度 平成26 年度	
取組状況	できるだけ坂井市内の施設・環境を利用した事業内容に変更しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に沿って実施していきます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	坂井市教育振興基本計画に沿って、子どもを取り巻く環境変化に対応した事業を実施していきます。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	177 千円	100 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	23 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	81 千円	29 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	280 千円	129 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.51 人	3,626 千円	0.31 人	2,204 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.01 人	21 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.52 人	3,647 千円	0.31 人	2,204 千円	人	千円	人	千円
総事業費		3,927 千円	2,333 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	その他	128 千円	86 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	一般財源	3,799 千円	2,247 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	3,927 千円	2,333 千円	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	何事にも挑戦する姿勢を育てる事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	地域のリーダーとして活躍していくことを期待し、継続していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で実施していきます。			
すぐに行ける改善提案	現状が妥当と考えます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度		
成果	参加者の満足度	目標値	100	達成率 100	100	達成率 100	100	達成率
		実績値	100	100	100	100	100	100
成果	募集定員（30人）に対する申込者数の割合	目標値	100	達成率 100	100	達成率 100	100	達成率
		実績値	93.3	93.3	100	100	100	54.3
活動	1回あたりの参加団員数の割合	目標値	90	達成率 90	90	達成率 90	90	達成率
		実績値	89.3	99.22	88.5	98.33	81.7	90.78
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						

事務事業名	青少年育成坂井市民会議事業			事業コード	10050500116
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	辻本 史貴
事業対象	青少年市内の青少年及び青少年育成指導者、ボランティア				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱、青少年育成坂井市民会議育成事業事務要項			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	青少年問題の持つ重要性に鑑み、広く市民の総意を結集し、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、青少年育成坂井市民会議を支援します。				
	<p>青少年育成坂井市民会議に対し補助金を交付し、健全な青少年を育成するための事業を実施します。同市民会議は公民館単位の23支部で構成し、総会・理事会において市民会議の活動方針を決定します。同市民会議では、「心の教育講演会」や青少年健全育成推進大会」等を中心とした事業を展開し、市全体の健全育成を推進します。各支部においては、地域の実情に応じた活動を行い地域の青少年の健全育成を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 心の教育講演会…「地域の子どもは地域が守り育てる」との認識のもと、青少年の健やかな成長を願い、その環境づくりを進め、次代を担う子どもたちの豊かな心を育むために講演会を開催する。 青少年健全育成推進大会…青少年の健全な育成についての市民意識の高揚を図る。 				
事業の目的・事業の概要等	○青少年育成坂井市民会議運営補助金 2,126千円				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	更なるニーズ・効果の把握に努め、市民会議の事業内容を精査し、より効果的な事業を展開するよう促していきます。特に、事業を積極的に周知・広報し、より多くの市民の参画を得て、市民一人一人が青少年の健全育成に努めるよう働きかけていきます		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	心の教育講演会においてアンケートを採るなど、ニーズ・効果の把握に努めました。推進大会では、子ども達の発表団体を増やし、その団体の活動を周知し、青少年育成活動を広めることに貢献することができました。また、市民会議の活動と青少年の健全育成に多くの方に関心を持っていただくために賛助金を集め、賛助金活用事業の広報にも努めました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	講演会や推進大会等の市民会議事業を、市内の幅広い方々に来場していただけるように努めます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	毎年、開催会場を変えることによって、各地区の市民の方が来場しやすいように事業を開催している。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,126 千円	2,126 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,126 千円	2,126 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.50 人	3,555 千円	1.15 人	8,175 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.50 人	3,554 千円	1.15 人	8,175 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		5,680 千円	10,301 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円				
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		5,680 千円	10,301 千円	千円	千円					
財源合計	5,680 千円	10,301 千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	地道に継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐに行える改善提案	各支部の連携を密にして推進します。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
成果	賛助会員数	件	目標値	276	達成率	276	達成率	
			実績値	252	91.3	177	64.13	205
成果			目標値		達成率		達成率	
			実績値			---	---	---
活動	支部事業数	件	目標値	115	達成率	115	達成率	
			実績値	113	98.26	118	102.61	125
活動	青少年健全育成推進大会来場者数	人	目標値	200	達成率	200	達成率	
			実績値	235	117.5	184	92	158
活動	心の教育講演会来場者数	人	目標値	200	達成率	200	達成率	
			実績値	79	39.5	108	54	81
活動	会長表彰被表彰者・被表彰団体数	件	目標値	10	達成率	10	達成率	
			実績値	8	80	8	80	6

事務事業名	放課後子ども教室推進事業			事業コード	10050500121
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	福澤 斗夢
事業対象	市内の小学生				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	坂井市放課後子ども教室実行委員会
根拠法令	無				
根拠例規	有	放課後子どもプラン推進事業費補助金交付要綱 他			
関連計画・マニュアル	有	坂井市放課後子どもプラン・坂井市次世代育成支援行動計画			
事業の目的・事業の概要等	放課後や週末等に安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ、文化芸術活動、地域の交流活動等の機械を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。				
	坂井市放課後子ども教室実行委員会に業務を委託し、主に公民館において学習補助、文化芸術体験、世代間交流など地域のボランティアの協力を得ながら、地域に応じた教室を実施する。 (補助率) 国 1/3 県 1/3 国補助限度額あり 放課後子ども教室実行委員会委託料 3,700千円				

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	子どもたちや地域の状況やニーズを把握し、適正な事業遂行に努めます。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	子どもたちの生活形態が多様化している中、参加者や保護者・地域ボランティアの方などから意見を伺い、地域ごとの状況やニーズを適格に把握し実施しています。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画及び次世代育成支援行動計画に基づき、改善案の模索に努めていきます。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	坂井市教育振興基本計画及び次世代育成支援行動計画に基づき事業を実施し、地域ごとの状況・ニーズを把握し、改善案の模索に努めていきます。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	3,302	千円	3,493	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	3,302	千円	3,493	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.30	人	2,133	千円	0.38	人	2,701	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	千円	千円
		人件費合計	0.30	人	2,133	千円	0.38	人	2,701	千円
総事業費	5,435	千円	6,194	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	2,028	千円	1,777	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	3,407	千円	4,417	千円	千円	千円			
財源合計	5,435	千円	6,194	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	地域で子どもを見守る事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	適正なメニュー作りに取り組みます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
事業実施教室数	教室		目標値	25	達成率	26	達成率	26	達成率	26	達成率
			実績値	25	100	25	96.15	23	88.46	23	88.46
子どもの参加者数	人		目標値	17500	達成率	19500	達成率	19500	達成率	19500	達成率
			実績値	14180	81.03	14552	74.63	17324	88.84	16189	
実施回数	回		目標値	1250	達成率	1300	達成率	1300	達成率	1300	達成率
			実績値	1233	98.64	1132	87.08	1337	102.85	1272	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	合宿通学事業			事業コード	10050500126
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	宇野 正昭
事業対象	坂井市内小学生4～6年生				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	坂井市合宿通学事業実行委員会がすべて運営
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市合宿通学事業実施要項				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	<p>家庭を離れ、合宿生活を体験することで、日常生活における家族への感謝の気持ちや自主性、協調性を育てることを目的としています。また、地域の方々の協力を得て行うことにより、子どもと地域の結びつきの強化を図ることも期待できます。</p>				
	<p>地域のボランティアグループ・公民館・学校から組織する坂井市合宿通学事業実行委員会に事業実施を委託しています。</p> <p>【実施内容】 公民館での共同宿泊体験、調理、洗濯、食事の準備・後始末 【対象校】 磯部小、春江西小、兵庫小、三国北小、三国南小 【実施期間】 全学年：3泊4日 【募集人数】 原則として各校20名～40名の定員にしております。 （宿泊公民館の立地条件や参加希望者数等から総合的に判断して決定） ※H25合宿通学事業委託料：1,947,708円</p>				
事業の目的・事業の概要等					

すぐに行ける改善提案	学校、児童、家庭や地域ボランティアの多忙化が進む中、事業従事者の負担軽減が課題になっています。そこで、学校からの要望に基づき、3泊4日に加え、2泊3日での実施も可能とするなど、地道に改善を勧めます。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	学習塾や習い事の増加による児童の多忙化やボランティア等従事者の確保が続く中、職員とボランティアを中心に事業を運営した状態です。学校の要望も踏まえ、26年度からは、学校の希望制、2泊3日の実施も可とするなど実施要項の見直しを行いました。今後は毎年見直しを行っていく予定です。
中長期的に取り組むべき改善提案	新教育振興基本計画に基づき、実施していきたいと考えます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	参加者や保護者からの評価も高い事業ですが、参加児童や従事者確保等課題も多く、実施方法の見直しや類似事業との統合など見直しを図っていきます。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	1,316	千円	1,457	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,316	千円	1,457	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	1.13	人	8,033	千円	1.23	人	8,744	千円
		臨時職員	0.05	人	103	千円	0.00	人	千円	千円
		人件費合計	1.18	人	8,136	千円	1.23	人	8,744	千円
総事業費	9,452	千円	10,201	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
		その他	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	9,452	千円	10,201	千円	千円	千円			
財源合計	9,452	千円	10,201	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	児童の健全育成事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐに行ける改善提案	地域のボランティアを取り込んで実施します。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				

成果	参加者の満足度	%	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度		
			目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
活動	参加者数 (目標値は参加校の対象児童数合計)	人	目標値	250	達成率	250	達成率	250	達成率	250	達成率
			実績値	160	64	157	62.8	251	100.4	188	75.2
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

事務事業名	坂井・延岡ジュニア交流事業			事業コード	10050500131
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	川畑 佐和子
事業対象	市民（小学5・6年生）				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	国際交流・地域交流の推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	無
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校5・6年生児童を対象に両市の名勝旧跡の見学や体験学習を通して人的交流を図る。				
	坂井市の小学生を延岡市に派遣し、両市の小学生と一緒に延岡市を体験します。（一年おきにお互いを訪問し合います。）				
事業の目的・事業の概要等	参加者 坂井市内の児童（5・6年生） 20人 坂井市PTA連合会 2人 事務局 2人				
	○報償費（記念品） 24千円 ○需用費（活動用消耗品費） 29千円 ○役務費（郵便料） 2千円 ○委託料（事業運営委託料） 1,036千円				

すぐにできる改善提案	将来的には、市の事業からPTA連合会の事業として実施できないかと考えています。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	事業が始まって4年目の現段階ではPTA連合会の事業として実施することは難しいと考えられます。しかし、将来的にPTA連合会の事業として実施できるよう、今後もPTA連合会と協力して実施していきたいです。		
中長期的に取り組むべき改善提案	旧丸岡町からの事業であるが、児童は市内の児童を対象としており、坂井市教育振興基本計画に則り、長期的に実施していくべきと考えます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	今年度も4町すべての小学生が参加しています。来年度以降も市内の小学生を対象に、坂井市教育振興基本計画に則り、長期的に実施していく予定です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	1,036千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	29千円	203千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	2千円	12千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	24千円	382千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,091千円	597千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.57人	4,052千円	0.45人	3,199千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.57人	4,052千円	0.45人	3,199千円	人	千円	人	千円
総事業費	5,143千円	3,796千円	千円	千円	千円	千円				
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
	地方債	千円	千円	千円	千円					
	その他	500千円	千円	千円	千円					
	一般財源	4,643千円	3,796千円	千円	千円					
財源合計	5,143千円	3,796千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	有意義な交流事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	市PTA連合会と連携して取り組みます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				

成果	参加者満足度	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	100	100	100	100	100	100
活動	参加者の事前研修の回数	回	目標値	2	達成率	2	達成率	2	達成率
			実績値	2	100	1	50	2	100
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	心の家庭教育支援事業			事業コード	10050505101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	門馬 聡子
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

地域や学校との連携を強化し、子育て中の保護者や子供たちへのより良い支援体制を作り、市全体への支援の拡充を図ります。

元教員、元保育士、子育て経験者である家庭教育支援チーム員による、相談会、広報誌の発行、子育て講座や子育て懇談会を開催する。

【平成25年度の対象校区】 前年度の対象校など継続を希望する学校も訪問
 三国地区：三国南、三国北、雄鳥、三国西小学校
 丸岡地区：高棕、長畝、平章、明章、鳴鹿小学校
 春江地区：春江、春江東、大石小学校
 丸岡地区：兵庫、大関、木部小学校

【事業の概要】
事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	事業の成果が数値で表せるものではないことから、相談にきた児童・保護者に対してのアンケートを実施したいと考えます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	相談に来る生徒、保護者ともに基本的な姿勢を「話をじっくり伺う」ことに重点を置いているので、アンケートを取ることは実質的には難しいことがわかりました。今後は相談に実際に来る人ではなく、対象者の小学生や保護者の普段の様子を把握している学校にアンケートを実施する予定です。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に沿った事業の展開を進めていきたいと考えます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	坂井市教育振興基本計画に沿って、子どもたちと保護者をサポートできるように事業を運営していきます。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	56 千円	34 千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,244 千円	1,020 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,300 千円	1,054 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.38 人	2,701 千円	0.38 人	2,701 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.38 人	2,701 千円	0.38 人	2,701 千円	人	千円	人	千円
総事業費	4,001 千円	3,755 千円	千円	千円	千円	千円				
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
		その他	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	4,001 千円	3,755 千円	千円	千円					
財源合計	4,001 千円	3,755 千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	家庭教育を支援する事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	支援チームの人材を確保しながら取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	広報紙の発行回数	回	目標値	4	達成率	4	達成率	6	達成率	6	達成率
			実績値	4	100	4	100	4		6	
活動	子育て講座の開催数	回	目標値	19	達成率	19	達成率	19	達成率	19	達成率
			実績値	7	36.84	6	31.58	7		9	
活動	年間の子ども相談室の開催数（一地区あたり平均値）	回	目標値	48	達成率	36	達成率	36	達成率	36	達成率
			実績値	59	122.92	59	163.89	52	144.44	45	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	愛護センター事業			事業コード	10050600101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	岡 弘和		
事業対象	市内の青少年						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	坂井市青少年愛護センター条例					
根拠例規	有	坂井市青少年愛護センター条例施行規則					
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	青少年の実態を把握し、非行防止と健全な育成を促進する。						
	【非行防止】 補導員による巡回・声かけによる早期発見 【浄化活動】 有害図書に関する調査・指導、白いポストの回収廃棄 【相談業務】 児童・生徒や保護者及び教師の相談業務 【健全育成】 懇談会、研修会の開催や地域との合同パトロール、啓発活動の実施 【安全対策】 青色回転灯装着車による巡回による見守り活動						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	まちづくり協議会など地域団体と連携を図りながら、積極的な青少年の健全育成を推進していく必要があると考えます。また、一般補導員の4地区連絡会を開催することにより、補導員同士が情報を共有することができ連携強化が図られると考えます。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	4地区一般補導員の組織を設立し、各地区代表者による連絡会を開催します。		
中長期的に取り組むべき改善提案	PTA選出の補導員への継続周知や各種団体との連携を図ることで、一般補導員が確保され、補導活動の充実が図られると考えています。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	継続的に実施していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年愛護センター費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	307	千円	305	千円	千円	千円		
		需用費	652	千円	743	千円	千円	千円		
		役務費	64	千円	88	千円	千円	千円		
		その他	1,170	千円	1,131	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,193	千円	2,267	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.25	人	1,777	千円	0.35	人	2,488	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	0.00	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.25	人	1,777	千円	0.35	人	2,488	千円
	総事業費	3,970	千円	4,755	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	396	千円	401	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
地方債		千円	千円	千円	千円					
その他		千円	千円	千円	千円					
一般財源		3,574	千円	4,354	千円	千円	千円			
財源合計	3,970	千円	4,755	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	青少年を取り巻く環境に考慮し、継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐに行える改善提案	まちづくり協議会とも連携して取り組んでいきます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
成果	一般補導員延べ出務回数	回	目標値	750	達成率	750	達成率	
			実績値	664	88.53	689	91.87	743
成果	少年等相談件数	件	目標値	200	達成率	200	達成率	
			実績値	268	134	289	144.5	393
活動	一般補導員延べ出務人数	回	目標値	1500	達成率	1500	達成率	
			実績値	1357	90.47	1385	92.33	1500
活動	白いポスト回収点数	点	目標値	1000	達成率	1000	達成率	
			実績値	992	99.2	1263	126.3	1518
活動	会議・研修会開催数	回	目標値	7	達成率	7	達成率	
			実績値	7	100	10	142.86	6
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					

事務事業名	スポーツ推進委員運営事業			事業コード	10060105101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	西出 政男
事業対象	坂井市民・体育指導委員				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	スポーツ振興法			
根拠例規	有	坂井市体育指導委員に関する規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画			
事業の概要	スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力などを行い、市のスポーツ振興を図る。				
	<p>【部会内容】 スポーツ推進委員 47名 総務部会：委員の広報活動、総合型地域スポーツクラブの育成及び推進 事業部会：各種スポーツ行事、大会企画、運営及び指導 研修部会：市民、体育指導委員の資質向上に寄与する研修・講習会の企画</p> <p>その他、団体や地域からの依頼により、ニュースポーツ・体力測定・マリン体操の派遣指導・協力を行う。</p> <p>○報酬（スポーツ推進委員報酬） 1,504千円 ○旅費 （北陸地区スポーツ推進委員研修会） 113千円 ○需用費（啓発） 300千円 ○役務費（傷害保険料） 87千円 ○負担金（県協議会負担金、研修参加負担金他） 104千円</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	スポーツ推進委員が中心となって、常に事業の内容や市民への周知をより良い事業の企画・実施をしていくことが必要だと考えます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	23年度から10年先を見据えた「坂井市スポーツ振興基本計画」に基づき、改善点を模索しながら事業を展開していきたいと考えます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	1,504千円	1,504千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	32千円	635千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	87千円	87千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	328千円	158千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,951千円	2,384千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.49人	3,483千円	0.49人	3,483千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.49人	3,483千円	0.49人	3,483千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	5,434千円	5,867千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源								
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	5,434千円	5,867千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	5,434千円	5,867千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	スポーツ推進委員によるスポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力・実施など、市民の体力・健康づくりを進めます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	誰でも参加できるニュースポーツの普及など、スポーツ活動の推進をスポーツ推進委員により進めます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持し、効果的な事業の運営に努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持し、効果的な事業の運営に努めます。			
すぐにできる改善提案	市民ニーズを踏まえた事業の内容や市民への周知について熟慮し、より良い事業の企画・実施をしていきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市民のスポーツの振興・普及について「坂井市スポーツ振興基本計画」に基づき、事業を展開していきます。また、市体育協会との連携により、より有効な事業ができないか検討を行います。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】

成果	スポーツ推進委員派遣指導依頼回数	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
				目標値	25	達成率	25	達成率	21	達成率	26	達成率
活動	研修回数	回	年度	実績値	23	92	28	112	28	133.33	18	69.23
				目標値	6	達成率	6	達成率	6	達成率	6	達成率
活動	会議回数	回	年度	実績値	8	133.33	4	66.67	6	100	6	100
				目標値	25	達成率	25	達成率	25	達成率	25	達成率
			年度	実績値	26	104	29	116	41	164	38	152
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			年度	実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			年度	実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			年度	実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率

事務事業名	保健体育事務事業			事業コード	10060110101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	西出 政男		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	スポーツ振興の充実を図るための事業を行う。						
	スポーツ振興審議会事業： スポーツ推進に関する重要事項について調査審議し、市教育委員会に建議する目的により設置されます。 各種協議会等負担金助成事業： 各種協議会等に対し、負担金助成を行っている。						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	次回（平成27年度）検定に向けて指定管理者である公益財団法人坂井市体育協会と連携して計画的に整備を行い、継続公認が認定されるよう努める。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき、改善案を見極めながら事業を推進していきます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	25 千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	12 千円	3 千円	千円	千円	千円			
		役務費	116 千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	15 千円	423 千円	千円	千円	千円			
		事業費合計	168 千円	426 千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.17 人	1,209 千円	0.35 人	2,488 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.17 人	1,209 千円	0.35 人	2,488 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		1,377 千円	2,914 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		1,377 千円	2,914 千円	千円	千円	千円				
財源合計		1,377 千円	2,914 千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	スポーツ審議会の開催、各種協議会に対するの助成を行うものであり、今後とも継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	市が主体となって行うものであり、継続して実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	適正なものと判断し、現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐに行える改善提案	陸上競技場2種継続への検定に向けて指定管理者である公益財団法人坂井市体育協会と連携して計画的な準備を進めます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき、事業を推進していきます。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	陸上競技場2種継続検定の可否	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				可
活動	各種協議会負担金助成額	目標値	9000	達成率	9000	達成率
		実績値		9000	100	9000
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				達成率
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				達成率
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				達成率

事務事業名	スポーツ大会運営事業			事業コード	10060200101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	西出 政男
事業対象	大会参加者・大会実施団体				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	大会運営事業
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有 坂井市スポーツ振興基本計画				
事業の概要	誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。				
	<p>【生涯スポーツの推進】 市民の生涯にわたるスポーツライフの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォークラリー ・ニュースポーツ教室 ・坂井市古城マラソン ・坂井市民スポーツ祭 <p>○需用費（大会消耗品費、食糧費） 39千円 ○役務費（傷害保険料） 57千円 ○委託料 4,800千円 ・坂井市古城マラソン 2,500千円 ・坂井市民スポーツ祭 2,300千円</p> <p>【市内で開催されるスポーツ大会の振興】 市内外のチームとの試合を通じ、技術・競技力の向上及び地域間の交流</p> <p>○補助金 1,800千円 ・坂井市古城カップサッカー大会補助金 700千円 ・坂井地区高等学校野球連盟事業補助金 100千円 ・古城グリーンロードレース大会事業費補助金 1,000千円</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	事業補助金については内容を精査した上で見直し済みであり、更に事業チェックをしていきたいと考えます。現段階では改善点はないものと考えます。		
目標年度 平成27年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画の内容に沿う方向で進めていきたいと考えます。		
目標年度 平成27年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	4,800千円	4,800千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	46千円	78千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	56千円	46千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,800千円	672千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	6,702千円	5,596千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.41人	2,915千円	0.35人	2,488千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.41人	2,915千円	0.35人	2,488千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	9,617千円	8,084千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		59千円	44千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	9,558千円	8,040千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	9,617千円	8,084千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	より多くの方がスポーツ活動に参加できるように支援していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	幅広い年齢層に、スポーツ活動の場を提供できるように事業を進めています。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	各種大会の実施に係る必要な経費を精査しながら負担していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	坂井市体育協会・スポーツ推進員の協力を得ながら、必要最小限の人員で事業を実施しています。			
すぐにできる改善提案	事業内容を精査、チェックしながら事業を進めています。			
目標年度 平成27年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき、事業を推進します。			
目標年度 平成27年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度		
成果	坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数	目標値	4500	達成率 4500	達成率 4500	達成率 4500		
		実績値	3010	66.89	3453	76.73	3043	67.62
成果	坂井市古城マラソン申込者数	目標値	4000	達成率 3000	達成率 3000	達成率 3000		
		実績値	3809	95.22	3841	128.03	3754	125.13
活動	体育指導委員会主管大会参加者数	目標値	200	達成率 200	達成率 200	達成率 200		
		実績値	67	33.5	34	17	70	35
活動	坂井市民スポーツ祭種目協会開催協議数	目標値	25	達成率 20	達成率 20	達成率 20		
		実績値	25	100	24	120	22	110
活動	坂井市古城カップサッカー大会参加チーム数	目標値	60	達成率 100	達成率 100	達成率 100		
		実績値	40	66.67	40	40	84	84
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						

【事業の成果】

事務事業名	スポーツ振興事業			事業コード	10060200106		
所管部署	生涯学習スポーツ課		電話	50-3163		記入者名	西出 政男
事業対象	坂井市内在住の全国以上の大会出場者 学生については坂井市出身で坂井市に保護者が在住する出場者。坂井市体育協会、坂井市スポーツ少年団						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	有 坂井市全国スポーツ大会出場激励金支給要綱						
関連計画・マニュアル	有 坂井市スポーツ振興基本計画						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。
坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体の活動に対して補助を行う。

【激励事業】
予選を勝ち抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督について、激励金を支給する。
国民体育大会 10,000円/人
全国大会 一般 8,000円/人、高校生以下 5,000円/人
アジア大会 規模に応じ 30,000円以内/人
国際大会 規模に応じ 50,000円以内/人
高校野球・高校サッカー大会への参加校 1チーム500,000円

○報償費（激励金） 2,699千円
○需用費（消耗品費） 5千円

【団体補助事業】
各団体の年間活動に対して、補助金を支給する。

市体育協会運営補助金：
坂井市市民の体育及びスポーツの振興を図るとともに、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を目的とする。また加盟30団体の競技種目の普及、発展及び競技力の向上を目的とする。
○補助金 22,963千円

市スポーツ少年団運営補助金：
各種スポーツ活動をはじめとし、野外・学習・奉仕活動や体力テストなどを通じて基礎体力を養うとともに健全な青少年の育成を目的とする。
○補助金 4,000千円

スポーツ振興事業費補助金：
坂井フェニックスサッカークラブの活動事業に対して支援し、市のトップチームとしてのチームづくりを図り、サッカーを通じて本市におけるスポーツの振興と青少年の健全育成に貢献することを目的とする。
○補助金 1,000千円

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育振興費					
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	315千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	5千円	4千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	30,662千円	32,097千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	30,667千円	32,416千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.57人	4,052千円	0.52人	3,697千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.57人	4,052千円	0.52人	3,697千円	人	千円	人	千円	
		総事業費	34,719千円	36,113千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源	34,719千円	36,113千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	34,719千円	36,113千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
成果	激励金支出人数	人	目標値	344	達成率 343	達成率 342	達成率 332	
			実績値	355	103.2	325	94.75	326
成果	体育協会加盟団体開催事業数	事業	目標値	105	達成率 105	達成率 105	達成率 102	
			実績値	116	110.48	119	113.33	114
活動	国際大会出場者数	人	目標値	10	達成率 10	達成率 10	達成率 10	
			実績値	6	60	7	70	7
活動	国民体育大会出場者数	人	目標値	30	達成率 30	達成率 30	達成率 40	
			実績値	24	80	30	100	35
活動	スポーツ少年団加入員数	人	目標値	2000	達成率 2000	達成率 2000	達成率 2000	
			実績値	1475	73.75	1495	74.75	1533
活動	ちびっこサッカー教室参加者数	人	目標値	300	達成率 300	達成率 300	達成率 300	
			実績値	280	93.33	180	60	

すぐに行ける改善提案	幅広い年齢層が親しめる生涯スポーツの振興を図り、更なる競技力向上に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画のスポーツ振興に寄与するもので、今後も継続していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。			目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	それぞれの事業目的にそって、事業内容を精査しながら継続していきます。					
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	現状のとおり実施していきたいと考えます。					
コスト投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	スポーツ振興を図るため、事業内容、コストなど精査しながら助成していきます。					
人員投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	現状を維持し、効果的な事業の運営に努めます。					
すぐに行ける改善提案	生涯スポーツの振興を図るとともに、更なる競技力向上に努めていきます。					
目標年度 平成27 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画を踏まえ、事業を精査・チェックしながら事業を進めていきます。					
目標年度 平成27 年度						

【事業の成果】

事務事業名	体育施設管理事業			事業コード	10060300101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	宮永 英之
事業対象	社会体育施設及び学校体育施設の開放				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	学校体育施設の管理運営
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市学校体育施設の開放に関する条例及び同施行規則、三国運動公園野球場広告掲載実施要領			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	スポーツ環境の整備充実を図るため、坂井市の総合計画と整合させながら、既存の体育施設が安全かつ安心して利用できるよう、施設の管理を図ります。				
	<p>【学校体育施設開放事業】 小・中学校の体育施設を、学校行事に支障をきたさない範囲で開放し、市民の健康増進やスポーツの振興を図ります。また、利用者の利便性を考慮し、公益財団法人坂井市体育協会に事業を委託します。</p> <p>【三国運動公園野球場有料広告事業】 三国運動公園野球場のグラウンドフェンスに有料広告を募集し掲載します。広告料は、市内体育施設の改修費用に充てます。</p> <p>◆体育施設維持管理事業 49,342千円 ○旅費（B & G各種会議旅費） 109千円 ○需用費（施設修繕料） 149千円 ○役務費（火災保険料） 399千円 ○委託料 11,085千円 ・学校体育施設開放事業委託料 ・防火対象物点検委託料 省エネ対策事業 ○需用費（施設等修繕料） 368千円 ○使用料及び賃借料（土地借上料） 30,270千円 ○工事請負費（体育施設整備工事費） 5,198千円 ○備品購入費（体育施設AED購入費） 1,004千円 ○負担金（B & G地域海洋センター負担金） 740千円 ○補償金（ナイター周辺水田補償金） 20千円</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	施設の老朽化が進んでいるため、指定管理者と協力して修繕業務を行います。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化により修繕費がかさんでいるため、施設の統廃合を検討します。また、平成30年に開催予定の福井国体に向けた施設整備を福井県国体推進室及び各競技協会と協議します。
目標年度 平成30 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	6,581千円	11,085千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	432千円	517千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	375千円	399千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	63,478千円	37,342千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	70,866千円	49,343千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.56人	3,981千円	0.55人	3,910千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.56人	3,981千円	0.55人	3,910千円	人	千円	人	千円
		総事業費	74,847千円	53,253千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出名	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円				
その他		600千円	800千円	千円	千円	千円				
一般財源		74,247千円	52,453千円	千円	千円	千円				
財源合計	74,847千円	53,253千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市民のスポーツの普及及び健康増進のため、施設の適切な維持管理を行います。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市民が安全に利用できるよう施設の維持管理を行います。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	コストを抑えた適切な管理を行いつつ、施設の修繕を計画的に実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	国体の施設整備がありますが、できるだけ現状のとおり進めます。			
すぐに行える改善提案	施設の老朽化が進んでいるため、指定管理者と協力して修繕業務を行います。また、国体の開催に向けての施設整備を進めます。			
目標年度 平成30 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	老朽化した施設が多く、修繕費がかさんでいるため施設の統廃合を検討していきます。			
目標年度 平成30 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	学校体育施設利用者数	人	目標値	80,000	達成率 80,000	達成率 80,000	達成率 95,000
			実績値	---	70,197	87.75	80,374
活動	学校体育施設開放対象校数	校	目標値	25	達成率 25	達成率 25	達成率 25
			実績値	25	100	25	100
活動	広告料収入	千円	目標値	2,400	達成率 2,400	達成率 2,400	達成率 2,415
			実績値	---	2,400	100	2,400
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				

事務事業名	体育施設指定管理事業			事業コード	10060300106
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	杉田 和也
事業対象	社会体育施設及び施設利用者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	施設の運営及び維持管理
根拠法令	有	地方自治法第244条の2第3項			
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例及び同施行規則			
関連計画・マニュアル	有	指定管理者モニタリングマニュアル			
事業の概要	指定管理者制度の導入により、民間のノウハウを活かした施設の管理運営を指定管理者に委託し、体育施設の適切な維持管理と利用促進を図ります。また、自主事業を開催し、市民のスポーツ活動を促進します。				
	市内43の体育施設の内、三国運動公園屋内温水プール、丸岡フィットネスセンター及び丸岡B&G海洋センターの3施設については、アクアスポーツ株式会社、残りの40施設については、公益財団法人坂井市体育協会が三国体育館、丸岡体育館、春江体育館、坂井体育館を拠点として施設の管理運営を行います。また、指定管理者は、モニタリングマニュアルに基づいたモニタリング等を実施します。				
事業の目的・事業の概要等	○委託料（指定管理者委託料） 210,300千円 38,000千円 ・坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター ・坂井市体育施設 121,800千円 ・坂井市体育施設（丸岡自治区） 50,500千円				

すぐに行ける改善提案	施設について、全体的に老朽化が進んでいるため、指定管理者と協力して施設の修繕業務を行います。モニタリングマニュアルに基づき、指定管理者と連絡及び調整を密に行います。また、指定管理者の管理運営方法に問題があると認められる場合は、直ちに改善策を講じるよう、指導・助言を行います。さらに、指定管理者の評価を行い、指定期間が満了となる施設については、指定管理者選定委員会を開催し、指定管理者の候補者の選定を行います。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	施設の老朽化に伴う修繕業務を次のとおり実施しました。 ①三国運動公園野球場防球ネット改修工事 ②三国運動公園テニス場人工芝改修工事 ③三国運動公園駐車場改修工事 ④丸岡運動公園駐車場改修工事 ⑤三国運動公園子ども広場遊具改修工事 ⑥三国運動公園排水管更新工事 また、指定管理者による緊急修繕工事を次のとおり実施しました。 ①丸岡フィットネスセンター空調機取替工事 ②三国運動公園高圧ケーブル取替工事 ③丸岡B&G海洋センター遠赤外線放射暖房機修繕工事		
中長期的に取り組むべき改善提案	施設について全体的に老朽化が進んでいるため、施設の統廃合について検討していきます。また、福井国体に向けた施設整備を、福井県国体推進課および競技団体と調整し進めていきます。		
目標年度 平成30 年度			
取組状況	福井国体に向けた施設整備として、丸岡スポーツランド多目的グラウンドを人工芝グラウンドに改修しました。平成26年度には丸岡スポーツランドサッカー場を国体水準のものへと更新する予定です。施設の統廃合については、引き続き検討していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費			
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	210,300千円	214,800千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	210,300千円	214,800千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.31人 2,204千円	0.98人 6,967千円	人	千円	人	千円	
	臨時職員	0.00人 千円	0.00人 千円	人	千円	人	千円		
	人件費合計	0.31人 2,204千円	0.98人 6,967千円	人	千円	人	千円		
総事業費	212,504千円	221,767千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円				
	その他	2,213千円	2,400千円	千円	千円				
	一般財源	210,291千円	219,367千円	千円	千円				
財源合計	212,504千円	221,767千円	千円	千円					

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	指定管理者において効率的な施設の管理運営を行うとともにサービスの向上を図ります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	指定管理者により、民間のノウハウを活かした施設の管理運営を行っていきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	指定管理者により、効率的な施設の管理運営を進めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐに行ける改善提案	モニタリングマニュアルに基づき、指定管理者と連絡及び調整を密に行いながら、指定管理者の管理運営方法に問題があると認められる場合は、直ちに改善策を講じるよう、指導・助言を行います。			
目標年度 ー 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に伴い、修繕費がかさんでいるため、施設の統廃合を検討します。			
目標年度 平成30 年度				

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
成果	指定管理体育施設利用者数	人	目標値	566,450	達成率 559,610	達成率 541,392	達成率 635,000	
			実績値	559,888	98.84	585,273	104.59	564,029
活動	指定管理者自主事業開催数	件	目標値	28	達成率 45	達成率 40	達成率 32	
			実績値	33	117.86	47	104.44	53
活動	指定管理者委託料	千円	目標値	210,300	達成率 214,800	達成率 216,300	達成率 221,600	
			実績値	210,300	100	214,800	100	216,300
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					

【事業の成果】